

総務課レポート

6月26日から9月12日まで、神奈川県立歴史博物館において「運動のすすめ－20世紀神奈川のスポーツイベント－」と題した企画展が開催されました。本会では、県立スポーツ会館2階に展示されていましたが、前回、1964年開催の東京オリンピックで使用した聖火トーチや選手ユニフォーム、大会関係者制服、大会写真アルバム等を貸し出して、この企画展に協力いたしました。



前回、1964年開催の東京オリンピックでは、神奈川県内でサッカー（横浜市三ツ沢球技場）、バレーボール（横浜文化体育館）、ヨット（江の島ヨットハーバー、葉山ヨットハーバー）、カヌー（相模湖漕艇場）の4競技が開催されています。



展示会場では、前回の東京オリンピックにゆかりのある様々な物品の中に、本会関係の聖火トーチや東京オリンピック公式ポスター、ユニフォーム等が際立って展示されていました。また、隣のフロアには、1998年の「かながわ・ゆめ国体」、「かながわ・ゆめ大会」の展示があり、マスコットの「かなべえ」や公式ポスター、炬火リレートーチ、ランナーのユニフォーム等が展示され、更に、今回の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の紹介や県内で開催された競技のポスター等が展示されていました。過去につながる貴重な品々が集められた素晴らしい企画展でした。現在、本会関係の物品は無事に返却され、2階展示コーナーに展示してあります。ご来館の際は、是非2階の展示コーナーをご覧ください。

【貸出物品】

資料名	内容
聖火トーチと聖火筒	1964年大会のもの。トーチはランナーが持ち、聖火筒は保管容器
バレーボール日本女子選手（東洋の魔女）ユニフォーム	1964年大会のもの。東京オリンピックで初めて実施競技として採用され、圧倒的な強さで、金メダルを勝ち取った
体操日本男子選手ユニフォーム	1964年大会のもの。男子団体では日本が2連覇を果たした
大会関係者制服（通訳）	ファッションデザイナーの芦田淳氏が手掛ける
大会関係者制服（女性作業員）	ファッションデザイナーの森英恵氏が手掛ける
大会写真アルバム	1964年オリンピックの前年にテスト大会として開催された東京国際スポーツ大会のヨットとカヌーの写真
大会写真アルバム	聖火リレーコースの現地調査の写真